

仙台奥羽ロータリークラブ

2026-2027（高橋年度）

活動計画書

（2026年7月1日より）

目次

1	クラブ資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	仙台奥羽ロータリークラブ組織図・・・・・・・・	4
3	仙台奥羽ロータリークラブ役員・理事・委員名簿・・・・・・・・	5
4	会長方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
5	幹事方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
6	-1 一般会計予算（2026年7月～2027年6月）・・・・・・・・	9
	-2 特別会計予算（2026年7月～2027年6月）・・・・・・・・	10
7	3か年戦略計画（2025～2028年）・・・・・・・・	11
8	-1 URUSHI PROJECT・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	-2 スサノオ基金・・・・・・・・・・・・・・・・	14
9	各委員会事業計画・予算・・・・・・・・	15
	1） 会員増強委員会	
	2） ロータリー財団委員会	
	3） クラブ管理運営委員会	
	4） 公共イメージ委員会	
	5） 奉仕プロジェクト委員会	
10	会員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・	23
	1） チャーター会員	
	2） 職業分類	
	3） 会員の移動	
	4） 賛助会員	
11	仙台奥羽ロータリークラブ諸細則・・・・・・・・	25
12	仙台奥羽ロータリークラブ法人会員細則・・・・・・・・	31

補遺：仙台奥羽ロータリークラブ定款は標準定款を採用しています。

1 クラブ資料

- 1) 創立 2021 年 7 月 1 日
- 2) 例会場 医療法人総志会 モークシャタウンホール
- 3) 例会日時 毎週火曜日 午後 7 時より（第 5 週火曜日を除く）
- 4) 使用言語 日本語または英語
- 5) ホームページ URL <http://so-rc.jp>
- 6) メールアドレス sorc@munakata-cl.jp
- 7) 事務局
〒989-3123 仙台市青葉区下愛子字観音堂 1-1 医療法人総志会内
TEL 022-399-6876
FAX 022-399-6877
事務局員 宗像恵
- 8) 会員（2026 年 7 月 1 日現在）
正会員 19 名
予備会員 0 名
補欠会員 7 名
賛助会員 個人 34 名・団体 9 組
- 9) 褒賞
2022 年
国際ロータリー第 2520 地区 ガバナー賞受賞
・RLI 参加賞
・「My ROTARY」アカウント登録を推進したクラブ
国際ロータリー第 2520 地区 ガバナー特別賞受賞
「新型コロナウイルスワクチン接種促進プロジェクト」

2023 年
国際ロータリー第 2520 地区 ガバナー特別賞受賞
「URUSHI PROJECT」
ワールドポリオデイフォトコンテスト 2023 TRF 委員長賞受賞
「木！（Key） of End Polio」

2024 年
国際ロータリー第 2520 地区 ガバナー特別賞受賞
「大人大学」
ワールドポリオデイフォトコンテスト 2024 入賞

「縄文の祈り」

2025 年

国際ロータリー第 2520 地区 ガバナー特別賞受賞
「HEAMOP」

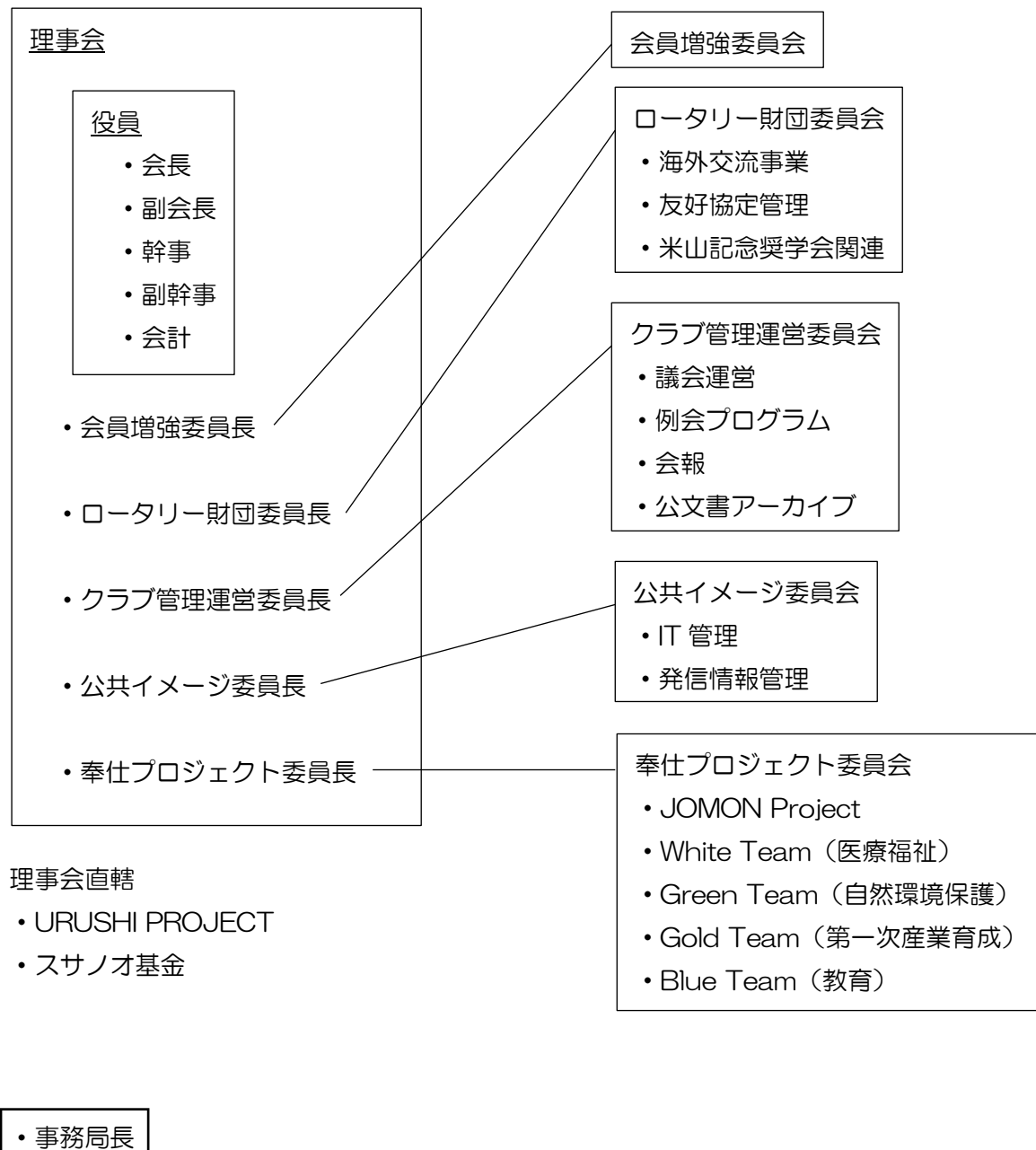
2026 年

国際ロータリー第 2520 地区 ガバナー特別賞受賞
「Camino de Banzan チャリティーハイク」

10) 地区出向

- ・国際ロータリー第 2520 地区 公共イメージ向上委員会委員長 林宙紀会員
- ・国際ロータリー第 2520 地区 ガバナー補佐（第 7 分区広瀬ゾーン担当）
岩渕雄司会員
- ・国際ロータリー第 2520 地区 ロータリー財団委員会／ロータリー平和フェローシッ
プ・学友委員会委員 宗像靖彦会員

2 仙台奥羽ロータリークラブ組織図（2024 年 4 月 23 日承認）



3 仙台奥羽ロータリークラブ役員・理事・委員名簿

役員

会長 高橋広
副会長 岩渕雄司
幹事 宮仲和
会長エレクト 田仲智子
筆頭副幹事 林宙紀
副幹事 田村祐子・鈴木利彦・田仲智子
会計 堀裕之

理事

高橋広・岩渕雄司・宮仲和・林宙紀・田村祐子・鈴木利彦・田仲智子・堀裕之

委員会

- ・会員増強委員会
委員長 鈴木利彦
- ・ロータリー財団委員会
委員長 林宙紀
- ・クラブ管理運営委員会
委員長 田村祐子
- ・公共イメージ委員会
委員長 田仲智子
- ・奉仕プロジェクト委員会
委員長 岩渕雄司
JOMON Project
White Team 佐藤博昭（リーダー）・黒澤大輔・香野朋広
Green Team 櫻本和夫（リーダー）・鈴木政憲
Gold Team 久世尚志（リーダー）・鈴木壘・宗像一子
Blue Team 櫻田敦彦（リーダー）・志村雄彦・宗像靖彦

事務局長 宗像靖彦

4 会長方針

2026-2027 仙台奥羽ロータリークラブ会長 高橋 広

【キーマッセージ】

「職業のはなしから地域を考える ― 対話で見つける、持続可能な奉仕 ―」

このたび、仙台奥羽ロータリークラブ 2026-27 年度の会長を拝命いたしました。創立から6年目を迎える当クラブにおいて、若輩の私にこの大役をお任せいただきましたこと、身の引き締まる思いであります。皆さまのお力添えをいただきながら、一年間、誠実に職責を全うしてまいります。

前年度・岩渕年度では、「対話とつながり」をテーマに、「今日の一言」や卓話、奉仕プロジェクトへの積極的な参加など、会員一人ひとりが関わりやすい場づくりを丁寧に育ててくださいました。本年度はその空気を引き継ぎながら、「対話から、奉仕のアイデアが育っていく一年」にしていきたいと考えています。

国際ロータリー会長 オンラインカ・H・ババロウ氏は、本年度のテーマに「Create Lasting Impact（持続可能なインパクトを生み出そう）」を掲げておられます。地域で継続できる奉仕活動を生み出していくには、私たち一人ひとりが本業の現場で培ってきた知恵を持ち寄ることが、いちばん自然な近道ではないかと考えています。

当クラブは 2021 年の創立から日が浅いですが、慣習にとらわれず、自分たちの色で持続した奉仕活動を実践してきた柔軟さ、身軽さがあります。その良さを活かし、本年度は「様々な職業のはなしを、お互いに聴き合う」場づくりから始めてみたいと思います。私たちはそれぞれ異なる職業を持ち、それぞれの現場で日々の課題に向き合っています。その「現場の声」を持ち寄る場として、例会を活かしていきたいと思います。

具体的には、毎週火曜日に開催する例会（祝日・第 5 火曜を除き、年間 43 回開催見込み）のうち、おおよそ半数にあたる 20 回を目標とし、「職業のはなしを聴く時間」にいきます。お話しいただくのは、会員ご本人だけでなく、会員外の方々にも積極的にお声がけしていきます。会長である私の知人や、会員の皆さまのご紹介を通じて、いろいろな業種・職種の方に、ご自身のお仕事と、現場で「ここが課題」「もっとよくしたい」と感じていらっしゃることを、率直に語っていただきます。それに対して、「私たちの仕事の視点だからこそ気づけること」を共有し、当クラブでできることを考え、既存のプロジェクトや新たなプロジェクトに活かしていきたいと考えています。

対話の中から見えてきたアイデアは、その場限りで終わらせず、現在の活動に連動するような「持続可能な奉仕」へと、ゆっくり育てていきたいと思います。地域の困りごとを、自分たちの仕事の延長線上で、少しずつ解決していくことができれば当クラブの活動にさらに興味を持っていただける方が増えるのではないかと考えています。

この対話を厚みのあるものにするためにも、「会員増強と多様性」をもう一つの軸にします。正会員にこだわらず、入会しやすい賛助会員の会員増強を目標とし、とりわけ女性会員、

若手会員、新しい職業分類の会員とのご縁を広げていきたいと思います。外部からお話しに来てくださった方には、当クラブの空気や活動を、まず実体験として感じていただき、その上で、ご興味を持ってくださったときには、正会員または賛助会員としてのご参画を、自然な流れでお勧めできるようにしていきたいと思います。“卓話の場そのものを、無理のない入会のきっかけとして活かしていく”という運用です。職業の幅が広がるほど、対話から生まれるアイデアの幅も広がります。本年度の取り組みを、田仲会長エレクトの 2027-28 年度に、しっかりとバトンとしてお渡しできるよう、「持続可能な奉仕」を、少しずつかたちにしていきたいと考えています。

至らぬ点多々あろうかと存じますが、皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

【会長プロフィール】

・経歴及び職歴

2006 年 福島県立安積黎明高校 卒業
2010 年 新潟医療福祉大学 卒業
2010 年 太田総合病院 入社
2014 年 かかず整形外科 入社
2021 年 株式会社ひばり 入社 経営企画室室長就任
2024 年 株式会社 LIM 設立 代表取締役就任
2025 年 11 月 株式会社ひばり 経営支援部部長（兼任）

・ロータリー歴

2021 年 7 月 仙台奥羽ロータリークラブ入会（企業会員補欠）
2024 年 7 月 企業会員補欠会員からの正会員区分変更（RI 登録）
2025 年 7 月 会員増強委員会委員長／会長エレクト／筆頭副幹事

5 幹事方針

2026-2027 仙台奥羽ロータリークラブ幹事 宮伸和

仙台奥羽ロータリークラブに入会して1年が経過いたしました。合同幹事会等の参加を通じ各クラブの活動などについて未だ勉強させていただいております。

各クラブの活動を学び仙台奥羽ロータリークラブの幹事としてどのような活動ができるのかを常に考えております。

まずは今年度も幹事として会長の補佐を務めつつ、「当クラブのクラブの強み」を伸ばしていくことで役割を全うしたいと考えております。

仙台奥羽ロータリークラブは比較的新しいクラブということもあり、他のクラブにはない柔軟な発想ができるクラブと認識しています。時には今までの常識に一石を投じた意見を言えるクラブと思います。

当クラブの活動を一層発展させていくことが社会貢献になると確信しています。

何卒ご指導よろしくお願い申し上げます。

【幹事プロフィール】

・経歴及び職歴

1986 年 岩手県立第四高等学校 卒業

1991 年 東北学院大学経済学部商学科 卒業

1991 年 大正製薬株式会社 入社

・ロータリー歴

2025 年 1 月 仙台奥羽ロータリークラブ入会 奉仕プロジェクト委員会

2025 年 7 月 2025-2026 幹事

6-1 下記一般会計予算案は2026年6月14日総会にて承認されました。

 仙台奥羽ロータリークラブ 第 6 期 一般会計 年間予算 【期間：2026年7月～2027年6月】						
一般会計収入						
	名 目	備考	単価	数	金額(円)	
会費	正会員（法人含）		100,000	19	1,900,000	
	正会員（G）		60,000	1	60,000	
	新会員	後期分計上	50,000	1	50,000	
	ビジター			0	0	
	賛助会員(団体) ※口数		10,000	18	180,000	
	賛助会員(個人) ※口数		6,000	35	210,000	
	新会員		6,000	5	30,000	
	助成金		0	0	0	
	その他収入					
	寄付金	※目標				
収入合計					2,430,000	・・・①
一般会計支出						
	名 目	内訳	R	単 価（\$:円）	数	金額(円)
RI関連への拠出	RI 分担金（年）	35\$ × 2回＝85.5ドル × 人数 × R160円(為替)	160	\$85.5	19.5	266,760
	R財団_基金（年）	3000円 × 人数_前期、後期		¥6,000	19.5	117,000
	地区分担金前期・後期（@17000円 × 2）			¥34,000	20	663,000
	米山記念奨学会前期・後期（寄付）			¥2,000	20	39,000
小計					1,085,760	・・・②
	名 目	内訳		単 価（\$:円）	数	金額(円)
委員会・例会活動費	URUSHIプロジェクト	直接経費				200,000
		借地料他 予備費				200,000
	会員増強委員会	必要時は補正にて支出				0
	RC財団委員会	予算枠				50,000
	クラブ管理運営委員会	必要時は補正にて支出				50,000
	公共イメージ委員会	Web管理費・新パンフ他				200,000
	奉仕プロジェクト委員会	予算枠以外は補正にて支出				120,000
小計					820,000	・・・③
	名 目	内訳		単 価（\$:円）	数	金額(円)
役員運営費	会合参加費等	上限予算枠として				300,000
	旅費交通費					
	寄付金等	予算枠として		5,000	19	95,000
	その他雑費	上記以外				0
					395,000	・・・④
	名 目	内訳		単 価（\$:円）	数	金額(円)
事務局運営費	備品費	封筒等、名簿、会員章、名刺、事務用品等				35,000
	通信費	切手・郵送費				35,000
	支払手数料	振込手数料				15,000
	慶弔費・交際費	会員への慶弔見舞等				0
	その他雑費	上記以外				10,000
					95,000	・・・⑤
一般会計支出合計					2,395,760	・・・⑥＝②＋③＋④＋⑤
特別会計支出（基金積立） 第6期分					0	・・・⑦
一般会計支出及び特別会計支出総計					2,395,760	・・・⑧＝⑥＋⑦
第6期単年度収支（見込）					34,240	・・・①－⑧
第5期繰越剰余金(見込)		1,743,000	次年度(第7期へ) 繰越見込		1,777,240	・・・⑥＝①－⑤
第5期サノオ基金繰越(見込)		555,000				
第5期一般会計・特会計合計(見込)		2,298,000				

6-2 下記特別会計予算案は 2026 年 6 月 14 日総会にて承認されました。

	仙台奥羽ロータリークラブ 第 6 期 特別会計 年間予算	【期間：2026年7月～2027年6月】
特別会計収入①		
名 目	備考	単価 数 金額(円)
基金	スサノオ基金(第5期繰越)	515,000
基金	スサノオ基金(第6期目標)	50,000
		0
		565,000
累積残高		565,000 ……①
特別会計支出		
名 目	内訳	単 価 (\$:円) 数 金額(円)
スサノオ基金		
	小計	0 ……②
基金②	繰越額	515,000
	今期繰入	50,000
	今期支出計	0
	次年度繰越	565,000 ……⑤
特別会計次年度繰越合計		565,000 ……⑥=④+⑤

【ビジョン】

人と自然が共に生きる「共生社会」を地域から創造する

【ミッション】

私たちは、縄文の精神を現代に蘇らせ、未来に誇れる日本の文化・精神・自然観を次世代へ継承します。地域に根ざした三本の柱「URUSHI」「Camino de Banzan」「JOMON PROJECT」を通じて、心の支柱と暮らしの価値観を見直し、人と人、人と自然との調和を育てます。

【重点戦略】

1. URUSHI PROJECT - 心を守る「漆の森」構想

- ・ 耕作放棄地を漆畑に転換
- ・ 国産漆の供給体制の構築
- ・ 漆器の普及による脱プラスチック推進
- ・ 寺社仏閣の修復・保存支援と信仰文化の再認識

2. Camino de Banzan - 魂をつなぐ「巡礼路」構想

- ・ 蕃山～立石寺ルートを「祈りの道」として整備
- ・ 市民墓地（霊廟）を沿道に設置し、先祖を偲ぶ文化の再生
- ・ 宗教の商業化から脱却し、心からの祈りを地域に

3. JOMON PROJECT - 誇りを育む「学びと冒険」構想

- ・ 子供会進化版としての縄文型教育活動（キャンプ・講演・体験学習）
- ・ 歴史・自然・言霊の尊重を通じた自立心の育成
- ・ 地域の大人と子どもが共に学び合う場づくり

【数値目標】

項目	現状（2025）	3年後目標（2027）
賛助会員数（年会費 6,000 円）	40 名	100 名
正会員数（年会費 10 万円）	25 名	30 名（目標修正）
URUSHI PROJECT 漆畑面積	未公開	年間 1 反（1000 m ² ）以上拡張
巡礼路整備距離	構想段階	5km 以上の巡礼路を整備
JOMON イベント開催数	年間 1～2 回	年間 6 回（2 か月に 1 回）

【中長期展望】

- 国内外からの視察受け入れによる地域の国際的認知度向上
- 学術機関・NPO・行政との協働による事業基盤の強化
- 「共生曼荼羅モデル」として、全国のクラブへ理念と実践を発信

仙台奥羽ロータリークラブのすべての活動は、「共に生きる」ことを軸に構成されています。

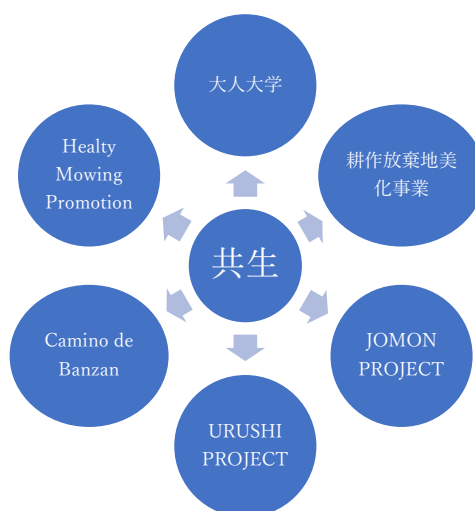
主要事業（三本柱）

1. URUSHI PROJECT は、自然資源（漆）と信仰・文化の再認識を通じて、人間と自然、過去と未来をつなぐ「循環」を担います。
2. Camino de Banzan は、祈りと記憶を継承する場づくりを通じて、生命の時間軸を超えた「共鳴」を育てます。
3. JOMON PROJECT は、子どもと地域の大人をつなぎ、自己肯定と行動力を育てる「学びと育成」の場です。

補助事業（実装型エコシステム）

1. 耕作放棄地美化事業は、URUSHI PROJECT と連動し、「荒れ地の美化」「資源の再活用」「環境意識の向上」を担います。市民参加による共同行動の第一歩です。
2. 大人大学は、Camino de Banzan や JOMON PROJECT との交点に位置し、地域の高齢者の知識・経験を社会へ再循環させる「知の再活用」です。健康とお金という現実課題に向き合うことで、自立的な共生を支援します。
3. Healthy Mowing Promotion は、限界集落における森林資源を活かし、都市市民とのつながりを構築する「地域間連携モデル」です。香木のチップからハーブティーを飲むという日常的な体験が、見えない共生の感性を育てます。

【図解構成（概要）】



中心：「共生」は理念だけでなく、現場で実装されるエコロジー・エデュケーション・スピリチュアルの三領域の融合点。

- **外周：実務的接点としての6事業が、互いに資源・対象者・価値観を行き来しながら共振する構造。**

8-1 URUSHI PROJECT：予算額 40 万円 （理事会直轄事業）

当クラブ基幹プロジェクトである URUSHI PROJECT では、今年度、従来の丸森町筆甫地区の圃場に加え、他地区での植樹の実現を目指します。

植樹については、主に漆の苗木の購入に予算を充当します。可能であれば圃場の周りに簡易柵を設置するところまでを見込むこととしますが、上述の新たな土地の整備費用と合わせ、予備費として計上し、予算の範囲内で可能な施策を実施します。

植樹地の確保や維持・管理には、地域住民の皆様との協力体制の構築が必須となります。会員各位のご協力を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

<予算内訳>

1) 経費：20 万円

- ・漆苗購入費（新規植樹用）：10 万円（丸森・他）
- ・追肥肥料購入費：1 万円×2 か所分（丸森・他）
- ・獣類防止柵等購入費兼予備費：8 万円（丸森・他）

2) 諸費用：10 万円

- ・借地関連諸費用：10 万円

8-2 スサノオ基金

- ・事業規模に応じ、理事会承認の下で基金より支出を行う。
- ・日本文化の発信を企図した海外留学支援を行う。

9 各委員会事業計画・予算

1) 会員増強委員会：予算額 0 円（補正対応）

- ・当クラブの活動に賛同頂き、志を共に活動頂ける会員の増強を図る。
- ・ガーディアン制度を活用し、正会員 30 名規模のクラブ構成を目標とする。
- ・女性会員の増強をはかる。
- ・賛助会員については、100 名規模の構成を目標とする。
- ・必要に応じ、クラブパンフレットの増刷や目的別パンフレット等の制作を行う。
- ・公共イメージ委員会と連携し、HP や SNS を活用した積極的なクラブ情報の発信を行い、新規会員の獲得につなげる。

<予算内訳>

パンフレットなどの諸費用

2) ロータリー財団委員会：予算額 5 万円

- ・奉仕プロジェクト委員会(各 Team)と連携し、各種奉仕事業の推進と円滑化を図る
- ・クラブ事業に関する地区補助金申請の検討・実施
- ・事業予算の検証・監督
- ・事業目的と会長方針との整合性の検証・監督
- ・他 RC との友好協定締結関連作業・協定の管理
- ・災害・紛争被害に見舞われた他 RC への支援の検討

<予算内訳>

緊急支援費用

3) クラブ管理運営委員会：予算額 5 万円

- ・事務局と連携のもと例会・臨時例会・総会の円滑な運営
- ・会員親睦を深める様々な企画を提案してゆく
- ・クラブ事業趣旨を地域内で浸透・拡散させるため、地域内諸組織との連携を強化する
- ・卓話（講演）・審議テーマの手配と事前案内
- ・例会議事録、月報などクラブ公式文書の作成
- ・臨時例会の企画・実施

これまで通り毎月第一日曜日は講演を主体とした臨時例会を企画開催する。

- ・趣味等を通して、会員間の共感を育むことを目的に、クラブ内サークルを形成し、その活動を支援する。

＜予算内訳＞

講師謝礼 外部卓話：5 千円×10 名程度

4) 公共イメージ委員会：予算額 20 万円

「顔の見えるクラブ」「顔の見える活動」を具現化した前年度。HP を刷新し、わかりやすい活動の見える化を実施。その上で今期は、少しずつ外に向けてアピールしていく予定。会員同士、賛助会員との連携をはじめ様々な人とのつながり、そして対話から、協力してプロジェクトの進化を目指す。

- ・HP 各プロジェクトやイベントの参加呼びかけ、実施報告の掲載
- ・youtube 各プロジェクトやイベントの動画配信。
ピックアップショート動画の作成とアップ
- ・sns facebook での各プロジェクトやイベントの募集および報告の掲載

＜予算内訳＞

- ・ホームページ維持管理 20 万円
 - ・SNS 広告費用 年間 0 万円 イベントの告知に使用する 必要に応じて予算申請
- ※チラシは作成せず、必要な人が必要なページをダウンロードしてプリントして使用

5) 奉仕プロジェクト委員会：予算額 12 万円

仙台奥羽ロータリークラブの取り組みである 3 つの柱（自然環境保護・第一次産業育成・教育）とロータリークラブの活動理念（平和の推進・疾病との闘い・水と衛生・母子の健康・教育の支援・地域経済の発展）の中で、日本や世界の状況を鑑み、必要とされることと私たちができること、したいと思うことを照らし合わせ各種取り組みを実行していきたいと思えます。今年度はさらに ARES Project とともに夏休み子供企画を実施予定。

【JOMON Project】予算額 0 万円（補正対応）

●耕作放棄地美化事業（定例基幹事業）

耕作放棄地の有効活用は、我が国の生産性を向上させるために急務となる課題である。当クラブでは耕作放棄地の有効活用に意欲を示す土地所有者からの依頼に基づき、耕作放棄地の草刈りや整地の手伝いを行っている。一方、Broken Windows Theory に論拠を求めれば、耕作放棄地の存在自体が国力を貶める原因となり得る。この点からも、当クラブでは積極的に耕作放棄地美化に取り組んでいる。

- ・土地所有者の依頼により、土地所有者とともに耕作放棄地の整備を行う。
- ・旧畑地には漆の植樹を勧め、土地所有者とともに維持管理を行う。
- ・旧水田地には薬用植物などの栽培を勧め、販路確保のお手伝いを行う。

●The 野営：野外でのキャンプ・調理・サバイバルなどの探求・体験・普及を行う。

今年度はライフラインとして重要な、火起こし、浄水・清水の実践企画を行う。

●JOMON ライブラリー：地域子どもたちの健全な成長に積極的にかかわる子供会進化版の縄文型教育活動（縄文文化を伝える書籍の寄贈、講演、キャンプ、体験学習など）を行う。

<予算内訳>

草刈り機レンタル費用等

【Global Climate Pledge】（Green Team）

当クラブは2021年7月の設立当初より、米国 Newport Beach ロータリークラブが中心となって設立した世界的気候変動対策を実践する環境保護団体と以下の協定（Global Climate Pledge）を締結しております。協定内容に従って Green Team が活動主体を担ってゆきます。当クラブの多くの事業内容は Global Climate Pledge の精神を反映したものです。

Community

- Share this Pledge and get at least one NEW org/group to sign
- Join/Support/Collaborate with a local climate organization (s)
- Support and Advocate for positive climate initiatives
- Provide information to the community regarding climate change
- Partner/support/ collaborate with local sustainable businesses
- As often as possible , be positive and inspirational in your message to others
- Share our existing Sustainability Plan with the public

Team

- Encourage your team to sign the individual global climate pledge
- Establish a Green Team
- Inspire your team to VOTE regularly
- Create a sustainability plan
- Have a fun informational session related to climate for your team
- Include climate statistics in newsletter

Energy

- Perform an energy audit
- Turn down heating and/or turn up air conditioning thermostats to reduce usage
- Utilize fans to cool air
- Utilize Natural light to reduce lighting usage
- Install light sensors or Turn off lights when not in use
- Reduce Vampire energy by unplugging electronics when not in use
- Purchase only energy efficient appliances/electronics
- Install Wind or Solar energy

Waste

- Start a recycling program
- Provide re-useable cups as opposed to disposable
- Start composting food waste
- Commit to go Zero Waste
- Commit to reduce plastic

Transportation

- Provide incentives for team to ride bicycle or walk to work/org
- Set up Ride-Share program
- Allow team to Telecommute at least once a week
- Provide incentives for team to use public transportation
- Utilize more online meetings vs travel/in person meetings
- Maintain Vehicles properly
- Go Electric or Hybrid on any new purchase

【Camino de Banzan】（Green Team）予算額 0 万円（補正対応）

Camino はスペイン語で「巡礼路」の意味です。仙台西地区に広がる蕃山山稜を巡礼路に見立て、山稜の縦走登山を行います。蕃山には弘法大師が霊場を拓こうと企図したものの、天狗に邪魔をされたため開闢を断念したという逸話が残っています。

- 1) 仙台アルプスと呼ばれている、自然豊かな蕃山並びにその周辺丘陵をハイクしながら、直径 20 km とも言われている、白沢カルデラの内側の蕃山登山道を、巡礼路を目標にしていります。

2) また、私たちは、蕃山から山形県山寺の立石寺を結ぶ「巡礼路」を開拓整備して「二口街道」の再現し、人々の往来を増やすことで、仙山エリアの活性化を目指しています。

ひたすら歩くことに集中し、心を感じたことと素直に向き合う時間は、「禅」に通じるものがあると思われます。踏み出す足の一步一步に意識を集中し、呼吸を意識し、風を感じ、山野の美しい花を愛で、虫や小動物の声、せせらぎの音を聴き、大地のにおいを感じ、細やかな自然の営みにふれ、自分の命の尊さに再感動する時間、そのようなひと時を私たちは提供したいと思っています。（この活動については、当クラブ会員のみならず、これまで同様市民にも広く参加を促します。この活動を通して当クラブの活動を広く市民に告知できたらと考えております。）

● インパクトハイク：健康増進を目的とした登山で、参加者の健康状態、経験を考慮して蕃山山稜を散策します。以下の7ルートが標準ルートとなります。

1. 白滝不動尊→西風蕃山→開山堂
2. 蛇台蕃山→西風蕃山→開山堂
3. 白滝不動尊→西風蕃山→萱ヶ崎山
4. 蛇台蕃山→西風蕃山→開山堂→萱ヶ崎山
5. 白滝不動尊→不屈山
6. 蛇台蕃山ピストン（子供初心者向け）
7. サイカチ沼周遊

●メンタルヘルスインパクトハイク：引きこもりがちなお子様や落ち込みがちの方々と蕃山開山堂を目指すハイキングです。医師が同伴します。

●チャリティーハイク（10月・4月）：ポリオ根絶を目的とした蕃山山稜の散策で、参加者から参加費（一人あたり1000円）をいただき、全額をロータリー財団のポリオ基金に寄付させていただきます。

●エクスプローラー：蕃山～秋保～秋保大滝～二口峠～山寺（立石寺）のルート開拓・整備を目的とした調査活動です。

<予算内訳>

登山道ロープ舗装・修繕費用

【Healthy Mowing Promotion（HEAMOP）】（Gold Team）予算額0万円（補正対応）

当クラブより秋保野尻地区町内会当該町内会にガーデンシュレッダーを寄贈（2024年9月）しました。住民所有地より発生する廃木材を利用したウッドチップ生産を促す。生産

物（ウッドチップ）を広く市民に提供しガーデニングに役立てることで、腰に負担のかかる草むしりの軽減を促す。ウッドチップ生産を地域活性化の産業へ成長させ地域の活性化ならびに SDGs 活動の一助としていくという目的で開始した事業でしたが、地区内では

1) 香木チップをハーブティーに活用することを試みております。

2) 農作物廃棄物を裁断して肥料に転用する試みが行われています。

産業育成の観点からは、様々な手続きが必要となるため、多面的かつ持続的に支援してまいります。

今年度以降は、高齢化により地域コミュニティの限界を招きつつある地区に対して、その地区特性を生かしたコミュニティ再構築、再活性化に寄与する事業を幅広く担当してゆきます。

<予算内訳>

諸費用

【大人大学】（Blue Team・White Team）予算額 0 万円（補正対応）

健康寿命を伸ばし、全ての人がいつまでも生き活きと活躍できる社会を実現させるために、肉体的及び精神的健康に関する啓蒙活動を行っていく。

コンセプトは「新人類進化計画」。

日本の高齢者のイメージを一新する世の中を創造したい。イキイキと元気に生き続け、介護は必要なく、社会にいくらかのアウトプット（仕事やボランティアを通じて社愛貢献）ができる人々となっている（新人類）。人生 100 年時代。50 歳以降の人生を進化させるためのきっかけづくりが「大人大学」。

テーマは健康、お金、生きがい。

今年度はさらに「生きがい」についてフォーカスして取り組む。どう人生を組み立てて楽しく、有意義に人生を生きるかの参考にしてもらえる動画メッセージを作成する。

下記のキーワードを包括したオンラインセミナー他、取り組んでいく。

【キーワード】

- 常識にとらわれない
- 専門の枠を超えてつながる、創る
- 共感者をアメンバー的に増やす
- 可能性を信じる
- チャレンジして改善する

<予算内訳>

SNS 広告運用

講師謝礼

予備費

【大人大学 運用規則の制定】

-1. 目的

40 歳、50 歳以降の中高齢期、幸せで元気に人生を過ごしてもらうヒントになる大人大学とする。健康、お金、生きがいの 3 点についてのセミナーやイベント等の実施をする。多くの参加者に仙台奥羽ロータリークラブのファンになってもらい、会員を増やしていくことも含む。

-2. 運用段取り

- すべてのセミナーや活動は大人大学事前に例会にて報告する
- すべてのセミナーの告知は大人大学事務局で対応
- すべてのセミナーの当日を含む運用は大人大学事務局で対応
- すべてのセミナー報告は大人大学事務局が例会にて報告
- 運用上の問題が生じた場合は都度ルールを更新する

-3. 禁止事項

- 特定の商品やサービスの販売目的
- 宗教勧誘
- 政治色の強い内容
- 社会的に問題があると考えられるもの
- 著作権を有する物の無断使用
- 表現言葉が乱暴であったり、他社を傷つける可能性があるもの

※上記については、クラブ定款と四つのテストに照合し大人大学事務局にて判断する

国際ロータリー4 つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

【ARES Project との共同事業】（Blue Team）予算額 12 万円

SC.FIELD 社が主催する地域イベントにおいて、仙台奥羽ロータリークラブが企画・運営協力を行い、学生団体 ARES Project と連携して実施する。宇宙開発や科学技術への挑戦を通じて、子どもたちに「学ぶ楽しさ」と「夢を持つことの大切さ」を伝えるとともに、

社会課題について考えるきっかけを提供する。単なる体験型イベントではなく、地域の子どもたちが最先端の知識や若い世代の挑戦に触れ、自ら考え、行動する探究心を育む教育的な機会とすることを目指している。また、地域イベントへの積極的な参画を通じて、地域とのつながりを深め、ロータリー活動の認知向上にもつなげていく。未来を担う青少年の育成と地域社会への貢献を両立する、

<予算内訳>

- 協賛費
- 交通費（ARES PROJECT）

10 会員名簿

1) チャーター会員 (23 名)

雨宮悠天・千葉茂男・船渡忠男・林宙紀・堀裕之・伊藤将・色川冬馬・岩渕雄司・
久世尚志・熊谷修・黒澤大輔・香野朋広・三井範寿・宗像靖彦・成瀬麻紀・
沼田孝彦・櫻田敦彦・新森一弘・菅原宣和・鈴木壘・田仲智子・上原研一・
米山卓哉

2) 職業分類 (19 名：女性 3 名・男性 16 名)

- 1-1 医術：宗像靖彦（内科）・黒澤大輔（整形外科）・佐藤博昭（歯科）
- 1-2 病院及び医療施設：堀裕之（老人保健）・高橋広（訪問看護）
- 1-3 医療従事者：宗像一子（保健師・看護師）
- 1-4 医薬：鈴木政憲（医薬品）・宮伸和（医薬品）
- 1-6 物理療法：久世尚志（物療）・櫻本和夫（柔道整復師）
- 6-1 日用品雑貨：岩渕雄司
- 12-2 保険：櫻田敦彦
- 13-1 建設業：鈴木壘
- 14-1 情報、調査サービス：田村祐子
- 14-3 ビジネスサービス：林宙紀
- 14-4 コンサルタント、デザイナー：香野朋広
- 14-8 不動産業：鈴木利彦
- 16-1 スポーツ：田仲智子（フィットネス）・志村雄彦（プロバスケット）

3) 会員の移動

・退会 (16 名)

三井範寿 (2021 年 8 月 24 日) 千葉茂男 (2021 年 9 月 21 日)
雨宮悠天 (2021 年 12 月 7 日) 船渡忠男 (2021 年 12 月 7 日)
色川冬馬 (2022 年 2 月 1 日) 新森一弘 (2024 年 6 月 30 日)
岩本日出貴 (2024 年 6 月 30 日：補欠会員への区分変更)
米山卓哉 (2024 年 6 月 30 日：補欠会員への区分変更)
伊藤将 (2024 年 10 月末日) 白坂知啓 (2024 年 12 月末日)
成瀬麻紀 (2025 年 6 月末日) 上原研一 (2025 年 10 月末日)
奥村滋子 (2026 年 2 月 24 日) 佐藤良幸 (2026 年 5 月 25 日)
熊谷修 (2026 年 6 月 30 日) 菅原宣和 (2026 年 6 月 30 日)

・終結 (2 名)

沼田孝彦 (2023 年 6 月 27 日) 桶谷裕人 (2024 年 4 月 16 日)

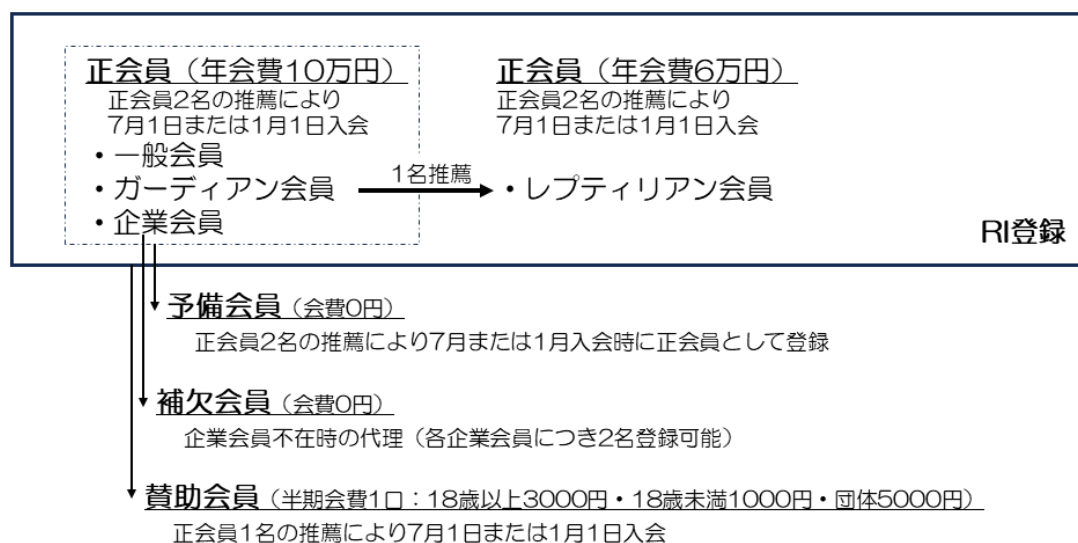
• 正会員登録（14名）

佐藤良幸（2021年12月8日）
田村祐子（2021年12月17日）
桶谷裕人（2021年12月21日）
岩本日出貴（2021年12月21日）
志村雄彦（2021年12月24日）
鈴木政憲（2023年7月1日）
佐藤博昭（2023年7月1日）
櫻本和夫（2024年1月1日）
白坂知啓（2024年1月1日）
奥村滋子（2024年7月1日）
宗像一子（2024年7月1日）
鈴木利彦（2024年7月1日：補欠会員からの区分変更）
高橋広（2024年7月1日：補欠会員からの区分変更）
宮伸和（2025年1月1日）

4) 賛助会員（2025年7月1日）

- 個人会員 33名
1口 32名
2口 1名
- 団体会員 10組
1口 9組
10口 1組

5) 会員の構成



【前文】

本クラブは、多様な価値観を尊重し、社会課題の解決に向けた自由な実践の場である。本規則は会員を拘束するためではなく、公平で円滑な意思決定を行い、安心して挑戦できる環境を維持することを目的とする。

【正会員】

- 1) 入会にあたっては、当クラブ正会員 2 名以上の推薦を必要とする。
- 2) 新入会手続きは 7 月または 1 月とする。
- 3) 正会員が当クラブ外事業にロータリアンとして招聘される場合、当該会員は事務局への事前報告をしなければならない。

【正会員によるガーディアン権限及び制度】（ガーディアン：後見人）

- 1) 年会費 10 万円を支払う正会員は自身が責任を持って支援・指導することを保証することができる 1 名に対してガーディアンとしてクラブ入会を推薦することができる。
- 2) ガーディアンに推薦される会員は正会員として登録される。
- 3) ガーディアンに推薦される会員の入会にあたっては、ガーディアンの他にもう 1 名の年会費 10 万円を支払う正会員の推薦が必要である。
- 4) ガーディアンに推薦される会員はガーディアンの承認の下でのみ正会員資格を保有することができる。
- 5) ガーディアンに推薦される会員の年会費は 6 万円とする。
- 6) ガーディアンに推薦される会員はガーディアンの承認において、ガーディアンを排除することができる。
- 7) ガーディアンを排除した会員は、年会費 10 万円を支払う正会員となる。

【予備会員】

- 1) 正会員登録以前の入会希望者を予備会員とする。
- 2) 予備会員期間中は会費納入免除とする。

【賛助会員】

- 1) 当クラブの活動趣旨に賛同し、活動への参加を希望する市民、団体を賛助会員とする。
- 2) 賛助会員は当クラブ正会員 1 名以上の推薦を必要とする。
- 3) 賛助会員は当クラブ臨時例会、奉仕プロジェクト委員会会議、奉仕プロジェクト委

員会内 Team への参加を可能とする。

- 4) 賛助会員は会長の指定する例会に参加をすることができる。
- 5) 賛助会員は当クラブ独自の会員であり、賛助会員個人情報は当クラブ理事会において厳重に秘匿管理する。

【例会】

- 1) 原則として毎週火曜日 19 時よりハイブリッド開催とする。
- 2) 第 5 火曜日は休会とする。
- 3) 第 1 火曜日または第 2 火曜日例会をクラブ協議会とする。
- 4) 正会員はクラブ事業に関する意見及び提案をクラブフォーラムにおいて表明し、議案としてクラブ協議会に諮ることができる。議案は、クラブ管理運営委員会に提出し、クラブ協議会開催前日までに会員に公知することとする。
- 5) 原則として定期例会後に理事会を開催する。
- 6) 例会のビジター・メイクアップ規定
 - ・参加費は徴収しない
 - ・会場参加またはリモート参加が可能である
 - ・参加希望者は例会開催 48 時間前までにクラブ事務局に電子メールまたは FAX を送付することとする。
- 7) 理事会の定める臨時例会及び会議、奉仕活動への参加をもってクラブ内メイクアップと認める。但し活動に際してはロータリー記章を装着することとする。(2 から 7 に移動)
- 8) 例会のメイクアップについては 1 単位を 1 例会分とし、以下をクラブ内メイクアップ対象とする。
 - ・委員会参加 1 単位
 - ・クラブ事業参加 1 単位 (午前と午後にわたる事業は 2 単位)
 - ・調査活動及び報告 2 単位
 - ・臨時例会参加 1 単位

【臨時例会】

- 1) 正会員を招集対象とする例会以外の会合を、臨時例会と称する。
- 2) 移動例会は臨時例会として扱う。
- 3) 毎月第一日曜日 8 時より、医療法人総志会が主催する「MR オープンカフェ第一部」との共催で講演を主とする臨時例会を開催する。
- 4) 正会員の臨時例会への参加はクラブ内メイクアップ 1 単位と認定する。
- 5) 例会のファシリテーターにあたる会員が担当例会に参加できない場合、臨時例会の開催を理事会に対して要求することができる。

【理事会】

- 1) 理事会は総会で承認された年間方針及び予算の範囲内において、事業執行に必要な事項を決定する。
- 2) 理事会は、本クラブの運営に関する一切の事項を審議し決定する。
- 3) 理事会は、理事現在数の過半数の出席（委任状を含む）をもって成立する。
- 4) 議案は、理事現在数の賛成をもって可決する。
- 5) 理事は書面による委任状を提出することができる。代理人の指定がない場合は、議決権を会長に委任したものとみなす。

【総会】

- 1) 総会は次の事項を審議する。
 1. 年間活動方針の承認
 2. 予算の承認
 3. 年間活動報告の承認
 4. 決算の承認
 5. 会長の選任
 6. その他会長又は理事会が必要と認めた事項
- 2) 総会は、会員現在数の過半数の出席（委任状を含む）をもって成立する。
- 3) 議案は、会員現在数の過半数の賛成をもって承認する。
- 4) 会長は書面による委任状を提出することができる。代理人の指定がない場合は、議決権を会長に委任したものとみなす。

【議案の通知】

- 1) 理事会及び総会に付議する議案は、採決日の前日までに対象者へ通知しなければならない。
- 2) 緊急を要する事項については、この限りではない。ただし出席者全員の同意がある場合に限り議案として追加することができる。

【役員】

- 1) 副幹事も役員に含める。
- 2) 当クラブでは会場監督を置かない。
- 3) 役員はクラブ運営に必要な調査等を会員に依頼することができる。
 - ・依頼内容・調査結果は理事会に報告するものとする。
 - ・調査等を担当した会員は調査に要した時間を、クラブ内メイクアップに充てることができる。

【副幹事】

- 1) 各委員会委員長は副幹事を兼任する。
- 2) 理事会は副幹事から 1 名の筆頭副幹事を指名しなければならない。

【委員会】

- 1) 委員会会議開催は委員長の権限とし、会議参加をもってクラブ内メイクアップに充てることができる。会議議事録を作成し、理事会に提出することとする。
- 2) 会長は、委員会会議開催を委員長に要求することができる。
- 3) 奉仕プロジェクト委員会に以下の 4 部門を設置する
 - ・ White Team：医療衛生関連奉仕を目的とした活動を行う。
 - ・ Green Team：自然環境保護及び Global Climate Pledge 関連奉仕を目的とした活動を行う。
 - ・ Gold Team：第一次産業育成関連奉仕を目的とした活動を行う。
 - ・ Blue Team：教育関連奉仕を目的とした活動を行う。
- 4) 奉仕プロジェクト委員会内 4 部門は、それぞれ正会員のチームリーダーが統括する。
- 5) ロータリー財団委員会はロータリー米山記念奨学会関連事業を担当する。
- 6) クラブ管理運営委員会は褒賞に関する実務を担当する。

【役職者権限の代行】

理事等の役職者が役割遂行困難となった場合、権限代行者を以下の通り指定する。

- 1) 会長権限は副会長が代行する。
- 2) 副会長権限は幹事が代行する。
- 3) 幹事権限は筆頭副幹事が代行する。
- 4) 筆頭副幹事権限は理事会で定める副幹事が代行する。
- 5) 委員会委員長権限及び副幹事権限は副委員長が代行する。
- 6) 副委員長権限は事務局長が代行する。
- 7) 会計権限は事務局長が代行する。
- 8) 事務局長権限は理事会で定める正会員が代行する。

【クラブ事務局】

- 1) クラブ事務局はクラブ内総務を担当し、理事会による円滑なクラブ運営を補佐する。
- 2) クラブ事務局長（Secretary General）はクラブ事務局業務全般を統括する。
- 3) クラブ事務局長は会長により 1 名指名され、任期は最長で 3 年とする。
- 4) クラブ事務局長は役員・理事を兼任することはできない。

【会費】

- 1) 正会員の年会費を 10 万円以上とし、10 万円を超える金額をスサノオ基金に組み入れる。
- 2) ガーディアンに推薦された正会員の年会費を 6 万円以上とし、6 万円を超える金額をスサノオ基金に組み入れる。
- 3) 会費は一括、または半期ごとの期日までに半額を支払うものとする。
- 4) 会費より半期あたり 1000 円を米山記念奨学事業協力費として充当する。
- 5) 会費より半期あたり 3000 円をロータリー財団寄付金として充当する。
- 6) 賛助会員半期年会費を以下に規定し、半期ごとの期日までに支払うものとする。
18 歳未満 ー□ 1000 円
18 歳以上 ー□ 3000 円
団体 ー□ 5000 円
- 7) 年度途中にやむを得ず退会する場合、退会者のクラブ負債金は半期あたり 3 万円とする。

【褒賞】

- 1) クラブの発展に著しい貢献をした会員は会長より褒賞を受けることができる。
- 2) 褒賞を受ける会員は例会参加率が 8 割を超える必要がある。
- 3) 褒賞を受ける会員は理事会において決定される。
- 4) 褒賞を受ける会員名は事業年度末に開催される総会にて公知する。

【寄付】

- 1) 当クラブは善意の寄付を受けることができる。
- 2) 当クラブでは海外での災害や国際的大規模災害等に際して、人道支援を行う団体への支援を行う。支援財源は年度末繰越金とし、支援方法等については理事会で決定する。

【基金】

- 1) 基金の名称を「スサノオ基金」とする。
- 2) 予算規模の大きい事業を計画する場合、理事会の承認により年度予算から基金を積み立てることができる。
- 3) 基金の趣旨への賛同を条件に善意の寄付を基金に充当することができる。
- 4) 基金の執行にあたっては、理事会承認が必要である。

【八咫鳥プロジェクト】

- 1) 日本文化を深く理解し、発信することに寄与する団体・個人に対して支援する事業

を「八咫烏プロジェクト」とする。

- 2) 資金支援は「八咫烏基金」として実施し、スサノオ基金及びプロジェクト趣旨への賛同を条件とした善意の寄付金を財源とする。
- 3) 八咫烏プロジェクトの所管を理事会とする。
- 4) 八咫烏プロジェクト支援対象は5)の基準を満たすものとし、総会にて認定する。
- 5) 日本の良さを自らの視点で学び、発見することに邁進し、学びを発信へと変え、日本文化と他文化をつなぐ橋となること。

令和3年7月13日 承認

令和3年7月20日 改定

令和3年8月3日 改定

令和3年8月10日 改定

令和3年8月17日 改定

令和3年8月31日 改定

令和3年9月14日 改定

令和3年10月26日 改定

令和3年12月28日 改定

令和4年5月10日 改定

令和4年6月7日 改定

令和4年8月9日 改定

令和4年9月6日 改定

令和5年4月18日 改定

令和5年5月9日 改定

令和5年9月12日 改定

令和5年10月10日 改定

令和6年3月19日 改定

令和6年4月16日 改定

令和6年4月23日 改定

令和6年5月7日 改定

令和6年5月21日 改定

令和7年3月11日 改定

令和7年6月3日 改定

令和8年1月27日 改定

令和8年6月16日 改定

12 仙台奥羽ロータリークラブ法人会員細則（2021 年 7 月 1 日）

企業の社会的責任に対する重要性が高まる中、当クラブは法人会員のオプションを創設し、仕組みの整ったロータリーを通じて、法人は地域社会に還元するためのプロジェクトに参加することができる。

仙台奥羽ロータリークラブは、企業、専門職事務所、行政機関、教育機関、のための法人会員プログラムを設けている。

1. 資格要件。

いかなる企業の従業員も仙台奥羽ロータリークラブの法人会員となる資格を有する。

2. 会員。

クラブ理事会の承認を得た上で、企業は 仙台奥羽ロータリークラブの会員となる従業員を、最大3名まで、代表会員または補欠会員として指定できる。

3. 出席。

クラブへの出席と参加の要件は、いずれの会員によっても満たすことができる。

全会員（代表および補欠）は、当クラブまたは当クラブが決定した他のロータリークラブの例会に出席する資格を有する。

4. 会費・分担金。法人の会費は正会員と同額とする。

但し

① 補欠会員を登録する場合代表者の代理を主とする場合の補欠登録は
会費は不要

② 代表者と同様に会員活動を行う場合は、正会員と同額とする。

但し、ロータリー会合に複数の法人会員が出席する場合、追加会員の食事代は別途支払うことが義務づけられる。

5. RI 登録。

代表会員のみを、クラブの正式な会員として登録する

6. 投票と定足数。

会合全般とクラブの議題において、法人会員は代表のみ投票権を有する。

7. 役職の就任。

法人会員は代表のみ役職に就くことができる。

8. 会員重複の禁止

個人正会員と法人会員の重複はできない。